

## 一学期始業式（抜粹）

新年度が始まるにあたり、「主体性」の大切さについて、話しをしたいと思います。

高校生活で身につけるべき能力の一つは、「主体性」だと考えます。

「主体性」とは、自分の意志で考え、責任を持って行動する力です。

例えば、勉強では、ただ言われた課題をこなすのではなく、「どうすれば苦手科目を克服できるのか」「どのような勉強法が自分に合っているのか」を、自分自身で考え、工夫しながら取り組むこと、これが主体的な学びです。

人は物事が上手くいかないとき、他人や環境を理由に言い訳するものです。私自身にも、そういう経験があります。

しかし、後から振り返ると、「結局、自分の行動次第だったな」と思うことが多いです。

どんなに恵まれた状況であっても、それを活かすかどうかは自分の行動次第です。待っているだけでは何も変わりません。逆に、厳しい状況であっても、他人や環境を言い訳にすることなく、主体的に考え、創意工夫しながら行動する人は、大きく成長します。そして、そういう人には、周りからの応援や協力が自然と集まってきます。

やがて皆さんも、社会に出る日が来ます。そのときに本当に求められるのは、課題意識を持って、主体的に行動する力です。与えられた仕事を正確に処理することは大切なことですが、それ以上に主体的に取り組むことが求められます。是非、高校生のうちに主体性を身につけ、将来、大きな壁にぶつかったとき、自らの力で道を切り開きくことができる人物になってほしいと思います。

皆さん一人ひとりが、主体的に行動し、自分自身の成長につなげていく。そんな一年になることを、心から期待して、式辞とします。